

100%
完全
実施

「スマホ・ネット問題」の取組の充実

～「教職員研修」・「保護者研修」・「情報モラル等の指導」の徹底～

児童生徒を取り巻く喫緊の課題として「スマホ・ネット問題」が挙げられます。「スマホ・ケータイ」の急速な普及に対して学校現場のみならず社会全体が追いついていない状況です。だからこそ先を見通し今後予想される課題に対応する力をつけていくことが求められます。

- *長時間ゲームをするなどのネット依存
- *誹謗中傷やいじめにつながる仲間外し等のネット上の人権侵害
- *課金、犯罪被害に遭うなどのネットトラブル

子どもをめぐる
「スマホ・ネット問題」
とは

「岡山県のいじめ問題対策の重点」より

「スマホ・ネット問題」に関わる3つの取組 管内小中学校の実施状況（平成26年度調査）

教職員研修の実施

教職員の資質能力向上のため、ネット上のいじめとその対処法に関する研修を全ての学校で実施する。

中学校	90.6%
小学校	66.3%

保護者対象の研修

保護者にSNS等の危険性等の認識を深めてもらうため、子どもが小学校高学年、中学校、高校の期間にそれぞれ1回以上実施する。

中学校	87.5%
小学校	66.3%

児童生徒への指導

小学校高学年以上の全ての児童生徒に対して、情報モラル等についての指導を各学年で計画的に実施する。

中学校	90.6%
小学校	75.9%

「岡山県いじめ問題対策」には5項目あり、その中で「スマホ・ネット問題」に関わる上記の3項目を重点的な取組として徹底をすすめます。各学校において今年度の教育活動の中に確実に位置付けることが重要です。

やるべき事は必ずやる！！

小学校での取組の実施が急務です！！ 問題の特性を考えれば「スマホ・ケータイ」を持つ前にこそ、保護者・児童に必ず学習機会を設け問題の未然防止や適切な使用につなげなくてはなりません。今こそ動くときです。意図ある取組を進めていきましょう。